

令和元年度事業報告書	事業所名	介護相談	作成者	小柳 由美子	作成日	R2.3.31
------------	------	------	-----	--------	-----	---------

目標	本年テーマ	(計画) 高齢者支援センター及び利用者(21%⇒32%) 医療機関(8%⇒16%)からの紹介率を上げ
		(評価) 高齢者支援センター及び利用者家族(54%)、医療機関(11%) でした。

基本処遇及び運営	■令和元年度処遇及び運営方針に対しての評価	
	(計画)	
	①病院側主催の研修に参加し地域医療連携室スタッフとの連携を密にしていく	
	②医療機関への定期訪問及び利用者通院時に同行する事等により情報を共有すると共に連携を図っていく	
	③毎月の高齢者支援センター訪問時に情報共有を行うと共に新規利用者の依頼があれば積極的かつ柔軟な対応を行っていく	
	④定期的に行われている体操教室などへの動向を継続し、地域住民の方との顔の見える関係作りを積極的に行う	
	⑤地域の方に介護保険サービス等について知ってもらえるように働きかけていく	
	⑥利用者の体調の把握を行い異変に素早く気付く事ができ、医療に繋げていく	
	⑦在宅生活困窮者や病院からの在宅復帰が困難な方で(法人のショートステイ希望者)の相談・受け入れを随時対応する	
	(評価)	
	① 皆、出来る限り参加したい意向はあるが開始時間が遅いため全員参加に繋がらなかった。	
	②③ 医療機関のMSWや高齢者支援センター職員から多少困難と感じる案件に対しても随時、受け入れをする事によりその後の紹介も頂け、前年度よりも紹介率が上がったと思われる。	
	④⑤ 法人側の期待されている事だと思うが、業務優先となり体操等の参加は出来なかった。 地域支援事業での敬老の日の訪問は参加する事が出来、その日に紹介を頂き新規獲得に繋がった。	
	⑥ 普段の様子と違う事に気付く事ができ、急変時の早期対応を行い悪化の防止や一命を救う事が出来た案件あり。 今後も緊急必要時の早急な判断が行えるように、知識の向上に努めたいと思う内容である。	
	⑦ 前年度よりもショートステイ(ロング)の利用者が増加している。他居宅からの引き継ぎ依頼に不本意を感じる事もあるが、皆で同等件数を維持し対応している	

研修・セミナー	■職員研修計画と実績			
	研修名称	参加実績	研修名称	参加実績
	児島地区ケアマネ交流研修会(5月) 医療連携について	石井・吉田・平松	倉敷市健康長寿課地域包括推進室(在宅医療・看護・介護連携推進研修)	小柳・見越・石井
	児島地区ケアマネ交流研修会(7月) 成年後見制度について	小柳・見越・石井・吉田・平松	岡山介護支援専門員協会(こころの病気とその対応)	石井・平松
	岡山介護支援専門員主任CM部会(自立支援とQOLの向上)	小柳	岡山介護支援専門員協会(アセスメント実践講座)	小柳・石井・平松
	岡山介護支援専門員協会(アセスメントツール研修)	平松	岡山介護支援専門員協会(居宅介護支援事業所管理者研修)	小柳
	児島地区ケアマネ交流研修会(9月) 警察との連携について	小柳・見越・石井・吉田・平松	病院主催の研修(倉敷市立市民病院)	小柳
	岡山介護支援専門員協会(ケアマネジャー大会)	小柳・平松	病院主催の研修(児島中央病院)	小柳
	児島地区ケアマネ交流研修会(12月) 事例検討会	石井	病院主催の研修(倉敷中央病院)	石井
	倉敷市介護予防ケアマネジメント従事者研修	平松	病院主催の研修(水島協同病院)	石井・平松
	下津井地区ケアマネ交流会	小柳・見越・石井・吉田・平松	岡山介護支援専門員協会(ケアマネジャー大会)	小柳・見越・吉田(申し込み後、コロナ予防の為、延期となっている)
	高齢者ケア勉強会・他職種連携	小柳・石井・平松		
	(効果) 基本、自分の学びたい研修に参加してもらおうようにしていますが、今年度平松CMには、介護支援専門員として必要な知識を得るために学べる研修を重点的に参加してもらいました。元資格が介護福祉士の者ばかりの為、医療知識の向上を筆頭に、相談援助技術者としての心構え、ケアマネの横の繋がりを構築、医療・看護・介護の連携構築、地域包括ケアの推進など・・・さまざまな研修に参加しました。学んだことを事業所内で共有し、事業所のケアマネ全員の質の向上に繋がるように今後も自己研鑽に努める。			

■会議・委員会計画実績・効果

会議・委員会・内部研修

会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果
介護相談会議	毎月定期実施し、事業所内で情報共有の場となっている。各担当者の件数も把握し新規の受け入れに対しての協調に繋がっている		
営業会議	毎月定期実施 迷う事等に対し助言を頂ける		
管理者会議	定期及び緊急開催あり。 法人の大事な情報を共有させて頂き緊張しますが、法人としての方針が聞けない所があり判断に迷います。		
親和会会議	不定期実施。 全体懇親会がメイン行事となっていてそこに向けての活動時は活発だが、その後はあまり効果の得られるものはなかった。		
安全衛生委員会	毎月定期実施。 全体の取り組みを教えてもらい、5人の狭い事務所の中でも環境を気にしたり、健康面、ストレスについても気にするようになった。		

防災・災害	■災害訓練計画・実績			
	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	5月		大規模地震・集中豪雨を想定した訓練	
	3月	9月	地域消防との合同訓練	訪問に出ていると見る事のない風景を見ました。総合ケアセンター内で過ごしている時、災害が起きた場合に動けるように日頃の訓練が必要だと感じた

行事・イベント	■月別行事・内部研修報告	
	月 度	
	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	ハラスメント研修参加 メンタルヘルス講習会参加
	10月	救命講習会参加
	11月	栄養講習会参加
	12月	ストレス発散・腰痛予防体操参加
	1月	
	2月	褥瘡予防とフットケア研修参加
3月	献血	

(総評)
 前年度よりも件数売り上げともに向上出来た。年度テーマに対して紹介先が違ってはいたが当初目標より件数確保に繋がったので良かったと思う。紹介率向上に伴い各CMの数値目標も、3名達成。利用者や家族からの苦情等もなく全員が懇切丁寧な対応が出来ているからこそ紹介率も上がってきているのだと感じます。各ケアマネのキャパを確認しながら、モチベーションの維持を図り今後も利用者の対応にあたりたいと思います。件数確保を重視すると地域支援に対する取り組みが疎かになってしまうため、今後の取り組み方については課題を要す。来年度も数値の維持向上を目標とする。